



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和4年10月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和4年10月3日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 しぶかわ電子地域通貨の名称が「渋P a y (しぶぺい)」に決まりました(資料1)
- 2 令和4年度 一般会計補正予算(第8号)及び(第9号・令和4年9月30日市長専決処分)のフレーム(資料2)
- 3 渋川市への移住定住支援制度が好調です(資料3)
- 4 多様な性を理解するリーフレットを作成しました(資料4)
- 5 「共生社会推進のまち 渋川市」推進事業として
『みんなの福祉作業所展』『第22回全国障害者スポーツ大会出場選手壮行会』
を開催します(資料5)

○次回開催予定

日時：令和4年10月11日(火) 午後1時～

場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
10月3日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	14:30	しぶかわ商工会から要望書の提出	市長応接室	商工振興課
10月4日(火)	10:00	第42回政策戦略会議	庁議室	秘書室
	13:30	和紙のちぎり絵の贈呈	市長応接室	秘書室
10月5日(水)	8:50	古巻中学校体育大会	古巻中学校校庭	学校教育課
	11:30	シルバー人材センターから要望書の提出	市長応接室	高齢者安心課
	18:00	令和4年度市長と自治会長との懇談会(古巻豊秋地区)	第二庁舎201会議室	市民協働推進課
10月6日(木)	10:00	第43回政策戦略会議	庁議室	秘書室
	13:30	広域組合決算審査意見書の提出	市長応接室	監査委員事務局
	19:00	令和4年度市長と自治会長との懇談会(小野上地区)	小野上公民館	市民協働推進課
10月7日(金)	8:30	伊香保小学校・伊香保中学校合同運動会	伊香保中学校校庭	学校教育課
	11:00	平和推進啓発作文・ポスターコンクール入賞作品最終審査	記者会見室	市民協働推進課
	13:30	広域組合正副管理者会議	広域組合大会議室	広域組合
	14:45	第4回チーム新・湯治全国大会	オンライン	観光課
	16:00	第60回渋川広域圏内発明くふう展表彰式	勤労福祉センター	商工振興課
	18:00	令和4年度市長と自治会長との懇談会(東部地区)	第二庁舎202会議室	市民協働推進課
10月8日(土)				
10月9日(日)				
10月10日(月)				
10月11日(火)	8:30	庁議	庁議室	秘書室
	11:00	「核兵器なき世界への連帯展」渋川展オープニングセレモニー	総合公園体育館	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室

しづかわ電子地域通貨の名称が 「渋Pay（しぶぺい）」に決まりました

渋川市が令和4年12月12日(月)に運用を開始する、しづかわ電子地域通貨の名称が「渋Pay（しぶぺい）」に決まりました。

1 しづかわ電子地域通貨の概要

渋川市は、市内経済の活性化及び循環を図るとともにキャッシュレス決済を推進するため、しづかわ電子地域通貨を導入します。市民がチャージ（購入）した電子地域通貨を、市内の加盟店で買い物などに使用できるものです。

また、渋川市独自の取り組みとして、期限切れとなったポイントと合わせて、加盟店に決済額の1%を「将来世代への投資」として負担してもらう仕組みとし、電子地域通貨等を使う市民、地域貢献として負担する事業者、ポイントを付与しその仕組みを支える市が、共に支え合う地域社会の実現に取り組みます。

2 しづかわ電子地域通貨の名称 渋Pay（しぶぺい）

3 名称の選定経過

しづかわ電子地域通貨の名称は、渋川市を象徴し、市民をはじめ多くの方々に、継続的に愛着を持ってもらえることをコンセプトに選定をしました。

名称の由来は、「渋川市」の「渋」と、「支払う」という意味の「Pay（ぺい）」を組み合わせたものとし、汎用性が高く、利用者に分かりやすいものとししました。

また、名称の選定方法としては、政策戦略会議において、本市を象徴する「渋」と「へそ」（「日本のまんなかへそのまち」や「物事を中心」という意味をもつ）を名称の要素として絞り、以下の名称案を作成しました。それらについて渋川市職員にアンケートを行い、得票数1位の名称案に決定しました（アンケート回答475名分）。

【名称案及び得票数】

- | | | |
|---|-------------------------|------|
| ① | しぶぺい／渋pay／shibupay／シブペイ | 196票 |
| ② | へそぽん／へそpon／hesopon／へソポン | 72票 |
| ③ | しぶか／渋ca／shibuca／シブカ | 62票 |
| ④ | しぶこ／渋co／shibuco／シブコ | 58票 |
| ⑤ | へそぺい／へそpay／hesopay／へソペイ | 45票 |
| ⑥ | へそか／へそca／hesoca／へソカ | 42票 |

4 今後のスケジュール

- 令和4年10月 加盟店募集開始、加盟店登録事業者に対する助成金交付
- 令和4年11月 加盟店説明会開催、広報・ホームページによる周知
- 令和4年12月12日 事業開始、導入キャンペーン開始

5 加盟店登録事業者に対する助成

(1) 助成内容

- ①加盟店に登録した事業者に対する導入準備金交付＝1万円
- ②二次元コードを読み取るための端末購入費交付＝上限3万円

(2) 助成金交付時期 令和4年10月～

6 利用者に対する導入キャンペーン

(1) 期間 令和4年12月12日(月)～令和5年3月15日(水)

(2) 内容 下記①・②のプレミアムポイントを付与

- ①キャンペーンポイント＝チャージ額の30%（上限3万円相当）

※チャージ上限 1人：5万円／日、10万円／月

- ②アプリダウンロードポイント＝3,000円相当（1人1回限り）

※先着2万人

⇒①・②の合計発行上限額：1億2,000万円

(3) プレミアムポイントの有効期限

- ①・②ともに令和5年3月15日(水)まで

※プレミアムポイント以外の通常のチャージポイント（購入ポイント分）の有効期限は、チャージから2年間です。

7 その他

県内で電子地域通貨導入済、導入予定の市町村は、以下のとおりです。

市町村名	名 称	開始時期
高崎市	高崎通貨	令和4年10月
桐生市	桐ペイ	令和4年11月
太田市	OTACO（おおたコイン）	令和4年10月
沼田市	tengoo	令和2年12月
みなかみ町	MINAKAMI HEART Pay	令和2年4月
邑楽町	コハクペイ	令和3年7月
渋川市	渋P a y（しぶぺい）	令和4年12月12日

■問い合わせ先

総合政策部 部長 田中 良（内線2400）

担当：デジタル行政推進課（電話0279-25-8414）

課長 小林 悟（内線2450）

改革推進係長 狩野 美菜子（内線2443）

資料2

令和4年度 一般会計補正予算(第8号)のフレーム

(千円)

歳 出	歳 入
1 新型コロナワクチン接種の推進 395,043 (1)初回接種(1回目、2回目)を完了した12歳以上の全ての市民を対象に、オミクロン株に対応したワクチンの接種を10月1日から年代別に順次開始 (2)9月6日から可能となった小児(5歳以上11歳以下)への3回目接種を推進	1 分担金及び負担金 2,013 農地災害復旧事業受益者分担金
2 豪雨被害に係る災害復旧工事を実施 14,838 (1)農地(田畑) 10,083 ・7月15日被害 11カ所 伊香保町伊香保、小野子、村上、中郷、赤城町見立 ・7月22日被害 1カ所 赤城町三原田 ・7月31日被害 1カ所 赤城町津久田 (2)農業用施設(水路) 4,755 ・7月15日被害 2カ所 川島、小野子	2 国庫支出金 395,043 (1)新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 242,857 (2)新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 152,186
	3 県支出金 8,021 (1)農地災害復旧事業費補助金 4,699 (2)農業用施設災害復旧事業費補助金 2,747 (3)小規模農村整備事業補助金 575
	4 繰入金 4,804 財政調整基金繰入金
409,881	409,881

補正前予算額 34,873,388千円



補正後予算額 35,283,269千円

令和4年度 一般会計補正予算(第9号)のフレーム
(令和4年9月30日市長専決処分)

(千円)

歳 出	歳 入
1 「しぶかわ観光応援キャンペーン」の 期間延長 40,528 全国旅行支援が令和4年10月11日から開始 となることから、それまでの間延長となる「愛 郷ぐんまプロジェクト第5弾」に合わせ、利 用者への「渋川市ふるさと感謝券」の配布期 間を延長 (1)実施期間 延長前 令和4年5月9日～令和4年9月30日 延長後 令和4年5月9日～令和4年10月10日 (2)配布額 変更なし(1人1泊につき2,000円分)	1 県支出金 40,528 地域観光事業支援補助金
40,528	40,528

補正前予算額 35,283,269千円

➡

補正後予算額 35,323,797千円

■問い合わせ先

総務部 部長 星野 幸也 (内線2100)
 担当：財務課 (電話0279-22-2414)
 課長 鴻田 吉史 (内線2150)
 財政係長 荒井 啓充 (内線2149)

渋川市への移住定住支援制度が好調です

渋川市への移住等を支援する助成制度が好調で、申請者が増加しています。そのため、一般会計補正予算（第7号）により、下半期分の不足額2,080万円を増額しました。今後も引き続き、移住者の生活安定と居住環境の充実を支援していきます。

1 概要

住宅取得による転入への支援である「移住者住宅支援事業助成金」、結婚などに伴う新生活スタートを支援する「移住定住新生活応援事業助成金」について、今年度は当初の見込み以上の申請を受け付けています。そのため、予算不足が見込まれたことから、一般会計補正予算（第7号）により増額しました。

2 事業内容

（1）移住者住宅支援事業助成金

渋川市内に住宅を新築または購入し、市外から転入する移住者に10万円を助成するもの。若者加算や子育て世帯加算、県外からの移住加算など、最大で210万円の加算があります。

（2）移住定住新生活応援事業助成金

渋川市内に住所がある婚姻届を提出した夫婦またはパートナーシップ宣誓をしたカップルの世帯で、婚姻日またはパートナーシップ宣誓日の前後6カ月以内に市内の新居へ転居または転入し、新生活を開始している場合に10万円を助成するもの。市外からの転入の場合1人につき5万円を加算します。

3 補正後の金額

（1）移住者住宅支援事業助成金＝5,333万円（当初3,823万円＋補正1,510万円）

（2）移住定住新生活応援事業助成金＝1,220万円（当初650万円＋補正570万円）

4 令和4年度申請数（令和4年9月30日現在）

（1）移住者住宅支援事業助成金＝71件：3,550万円

（令和3年度実績＝74件：2,230万円）

（2）移住定住新生活応援事業助成金＝38件：645万円

（令和3年度実績＝28件：250万円）

5 移住者数

渋川市は、交付している助成金（移住支援金、移住者住宅支援事業助成金、移住定住新生活応援事業助成金）を申請していただいた人数で、移住者数を把握しています。令和4年4月1日～9月30日の間に移住された方は233人（移住者住宅支援事業助成金＝180人、移住定住新生活応援事業助成金＝53人）でした。

【参考】 平成28年度：137人 平成29年度：144人 平成30年度：152人
令和元年度：263人 令和2年度：218人 令和3年度：222人

6 移住前における居住地（令和4年度申請分）

（1）移住者住宅支援事業助成金（カッコ内は主な自治体）

- ・群馬県内＝147人（前橋市37人、高崎市17人、吉岡町27人）
- ・群馬県外＝33人（埼玉県さいたま市5人）

（2）移住定住新生活応援事業助成金（カッコ内は主な自治体）

- ・群馬県内＝43人（前橋市10人、沼田市6人、みなかみ町5人）
- ・群馬県外＝10人（神奈川県川崎市3人）

■問い合わせ先

総合政策部 部長 田中 良（内線2400）

担当：政策創造課（電話0279-22-2401）

課長 佐藤 多恵子（内線2420）

移住定住支援係長 本郷 睦代（内線2181）

資料4

多様な性を理解するリーフレットを作成しました

多様な性を理解し、認識を深め、誰もが自分らしく生き生きとした人生を送れる社会の実現に向けて、リーフレット「自分を認め、相手を認め、誰もが自分らしく」を作成しました。

リーフレットは、性を意識する年齢に当たる中学2年生などに配布します。

1 概 要

渋川市は、平成31年度に策定した「第2次渋川市男女共同参画計画」において、重点施策の一つとして「多様な性への理解の促進」を掲げています。性の多様性への関心や認知度は、LGBT等をめぐる社会的な動きが進んできたことから、高まっています。しかし、性的マイノリティの方が実際に直面している困難は、周囲に分かりにくく、理解や配慮が十分にできていない状況があります。

多様な性を理解し、認識を深め、誰もが自分らしく生き生きとした人生を送れる社会の実現に向けて、群馬県内でLGBTQ支援団体として活動する一般社団法人ハレルワ監修のもと、リーフレットを作成しました。

2 内 容

- (1) セクシュアリティの多様性
- (2) SOG I（すべての人が持っている性のあり方）
- (3) セクシュアリティの困りごと
- (4) カミングアウト（当事者であることを自ら打ち明けること）
- (5) アライになろう
※アライとはセクシュアルマイノリティを理解し、支援する人のこと
- (6) レインボーカラー
- (7) 相談窓口一覧

3 作成部数 1,000部

4 配布対象者

- (1) 市内中学2年生
- (2) 市内各小・中学校の教職員

※その他、各公民館や図書館にリーフレットを設置するほか、市ホームページで周知します。



5 その他

県内の自治体において、同様のリーフレットを作成している自治体は、大泉町のみです。12市では初めてとなります。

参考

渋川市パートナーシップ宣誓制度

1 概要

戸籍上の性別にとらわれず、互いを人生のパートナーとして宣誓した2人の関係を市として証明する制度であり、宣誓された方には、渋川市パートナーシップ宣誓書受領証を交付します。

2 宣誓書により利用できる制度

- (1) 市営住宅の入居申込
- (2) 借り上げ賃貸住宅への入居申込
- (3) 渋川市移住定住新生活応援事業の対象世帯として、パートナーシップ宣誓を機に市内の新居において新生活を開始した世帯も含む
- (4) 渋川市居住誘導区域定住促進事業の若者加算の対象となる配偶者等にパートナーシップ宣誓を行った者を含む

3 宣誓書受領証の累計発行件数(令和4年9月30日現在) 1組

■問い合わせ先

総合政策部 部長 田中 良 (内線2400)

担当：政策創造課 (電話0279-22-2396)

課長 佐藤 多恵子 (内線2420)

企画戦略・共生社会推進係 坂本 和馬 (内線2122)

「共生社会実現のまち 渋川市」推進事業として 『みんなの福祉事業所展』『第22回全国障害者スポーツ 大会出場選手壮行会』を開催します

「共生社会実現のまち 渋川市」の推進に向けた取り組みとして、渋川市内の福祉事業所（就労移行支援、就労継続支援A型・B型、生活介護、地域活動支援センター）の活動内容パネル展示と自主生産品の展示即売を行います。

また、栃木県で開催される、第22回全国障害者スポーツ大会の出場選手壮行会を開催します。

1 みんなの福祉事業所展

(1) 概 要

市内の福祉事業所（就労移行支援、就労継続支援A型・B型、生活介護、地域活動支援センター）による活動内容パネル展示と自主生産品（焼き菓子、雑貨など）の展示即売会を行います。

(2) 開 催 日 令和4年10月19日(水)～21日(金) 午前11時～午後4時
※初日は、午前11時30分から開会式を行います

(3) 場 所 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール

(4) そ の 他

期間中、渋川特別支援学校高等部の富永童威^{どうい}さんが、発砲スチロールの板に絵を描き、切りとって作成した恐竜や動物の作品展示を行います。

2 第22回全国障害者スポーツ大会出場選手壮行会

(1) 概 要

令和4年10月27日(木)～11月1日(火)に栃木県で開催される第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に、群馬県選手団として派遣される本市在住選手の壮行会を行います。

(2) 開 催 日 令和4年10月19日(水)午前11時～

(3) 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

(4) 出場選手 1名

選手名：青木 清子さん（74歳・渋川市渋川在住）

種目：水泳

■問い合わせ先

福祉部 部長 山田 由里（内線1200）

担当：地域包括ケア課（電話0279-22-2359）

課長 柴田 宏（内線1210）

障害福祉係長 荒木 忠（内線1211）